

いじめ対策のPDCAチェックシート(イメージ) ①

(未然防止のケース)

(注)本資料は素案である。

柱となる施策 (インプット)	取組	結果 (アウトプット)	初期成果 (初期アウトカム)	中間成果 (中間アウトカム)	最終成果 (最終アウトカム)
年間の学校教育活動を通じたいじめ防止プログラム (学校いじめ防止基本方針に規定)	<p>○豊かな心を育む取組 ・人権教育、道徳教育、体験学習 等</p> <p>○「いじめ」に関する理解を深める取組 ・定義、いじめの禁止、人権侵害、懲戒、警察への通報等</p> <p>○自己有用感、自己肯定感を育む取組</p> <p>○いじめの事例の学習、相談・通報に係る実践的な学習</p> <p>○上記取組の体系的・計画的な実施 取組:上記各事項の具体的な教材・事例の整備 取組:各学年の毎月の活動計画の作成</p> <p>○保護者、専門家、地域住民の参画 取組:活動計画の作成への参画 取組:取組の評価・見直しへの参画</p>	<p>○児童生徒が、自分と他の児童生徒すべてが尊厳あるかけがえのない存在であり、個人として尊重されなければならない存在であると考えている</p> <p>○児童生徒が、いじめの定義や、いじめが人権侵害となること、いじめは懲戒や刑事罰等の対象になり得ることを理解している</p>	<p>○児童生徒が、いじめは個人の尊厳を害するものであり、絶対にあってはならないものと考えている</p>	<p>○児童生徒が、自身や他の児童生徒がいじめを受ける心配をしていない</p> <p>○児童生徒が、学校におけるいじめは必ず発見・通報され、適切に解決されると考えている</p> <p>○児童生徒が、現学年で、いじめを受けていない</p>	<p>○いじめの未然防止</p> <p>○いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくり</p>
児童生徒による主体的な活動	<p>○学級活動、児童会・生徒活動による取組</p> <p>○その他、児童生徒による独自の取組 取組:児童生徒の主体的な企画、取組への積極的・主体的な参画の確保 取組:具体的な取組の実行(パトロール隊、相談箱設置等)</p>	<p>○児童生徒が、いじめが起きても、周囲の児童生徒を含め、児童生徒同士で声掛けし、止めさせることができると考えている</p>	<p>○現に、自分が声掛けするつもりがある</p> <p>○声掛けの相談を受けたり、他の児童生徒による声掛けを見たりしたことがある</p>	<p>○児童生徒が、現学年で、他の児童生徒のいじめを見聞きしていない</p>	

いじめ対策のPDCAチェックシート(イメージ) ②

(未然防止のケース)

(注)本資料は素案である。

柱となる施策 (インプット)	取組	結果 (アウトプット)	初期成果 (初期アウトカム)	中間成果 (中間アウトカム)	最終成果 (最終アウトカム)
学校いじめ対策組織による活動(組織の役割・計画等を学校いじめ防止基本方針に規定。PDCAサイクルも担う)	<p>○組織・役割等の周知 取組: 始業式、全校集会、学年集会等における周知(相談・通報窓口の役割、早期発見・事案対処の役割等) 取組: 組織、役割、相談・通報先のHP掲載</p> <p>○実効性ある組織構成 取組: 各学年の学級担任の参画、教科担任の参画 取組: 学級担任、教科担任の計画的な参画 取組: SC、SSWの参画 取組: 人権擁護委員・弁護士等の外部専門家、元教員、元警官の参画</p> <p>○実効性ある活動 取組: 児童生徒や保護者からの相談・通報受付 取組: いじめ事案の児童生徒・保護者等への周知 取組: 学校における児童生徒の見守りの実施 取組: ネットパトロールの実施 取組: 校内研修の実施 取組: 地域連携先への説明や意見交換の実施</p> <p>○学校いじめ防止基本方針の周知・評価・見直し 取組: 入学時、各年度開始時における児童生徒、保護者、関係機関等への説明 取組: 基本方針改定時の保護者、児童生徒代表、地域住民等の参画、児童生徒へのヒアリング等の実施 取組: 基本方針のHP掲載の有無</p>	<p>○児童生徒が学校いじめ対策組織の存在・役割・活動を認識し、肯定的に評価している</p> <p>○児童生徒が、自分や他の児童生徒に対するいじめを教職員や保護者等に相談・通報すれば、学校いじめ対策組織の取組により、必ずいじめが解消すると考えている</p> <p>○保護者が、自分の子供や他の児童生徒に対するいじめを教職員に相談・通報すれば、学校いじめ対策組織の取組により、必ずいじめが解消すると考えている</p> <p>○地域住民が、児童生徒に対するいじめを教職員等に通報・相談すれば、学校いじめ対策組織の取組により、必ずいじめが解消すると考えている</p>	<p>○現に、自分が相談・通報相談するつもりがある</p> <p>○相談・通報を受けたり、見聞きしたりしたことがある</p>	<p>○児童生徒が、自身や他の児童生徒がいじめを受ける心配をしていない</p> <p>○児童生徒が、学校におけるいじめは必ず発見・通報され、適切に解決されると考えている</p> <p>○児童生徒が、現学年で、いじめを受けていない</p> <p>○児童生徒が、現学年で、他の児童生徒のいじめを見聞きしていない</p>	<p>○いじめの未然防止</p> <p>○いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくり</p>

【備考】

- ✓ 「取組」の評価に当たっては、各取組の回数・件数を計上するなど、可能な限り定量的に把握すること。
- ✓ 「結果」、「初期成果」、「中間成果」の達成状況については、児童生徒を対象とした定期的なアンケート調査、個人面談・教育相談、保護者面談等により把握を行うとともに、学校いじめ対策組織において分析・評価を行う。